R8　西台中コミュニティ・スクール委員だより　第3号

令和8年11月　西台中学校コミュニティ・スクール委員会

10月14日(水)に**「まなびのエリア3校合同によるコミュニティ・スクール委員会」**を開催しました。
テーマは**「まなびのエリアでできることは何か」**

3つのグループに分かれて、各校の活動を共有し、学びのエリア(西台中学校・志村第五小学校・高島第六小学校)として協働できることを話し合いました。

各グループでの熟議の内容について共有後、各校長先生、板橋区 CS アドバイザー香月よう子さん、板橋区教育委員会の職員の方から、感想や貴重なご意見をいただきました。

小学校と中学校では、子どもたちの発達段階や学校生活、学びの内容などに違いがありますが、地域の子どもたちの健やかな成長に向け、よりよい学びの環境をつくっていくという思いは共通しています。

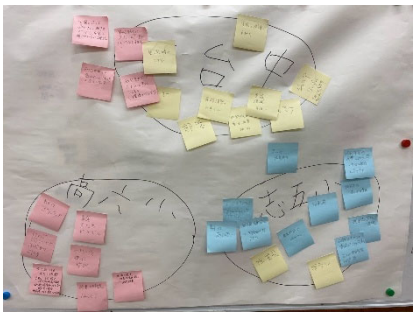
同じ地域で子どもたちの成長を支える仲間として、3校の連携や地域とのつながりの大切さを改めて考える貴重な機会となりました。

合同委員会の様子@高島第六小学校

■小グループ熟議の共有(発表者より)

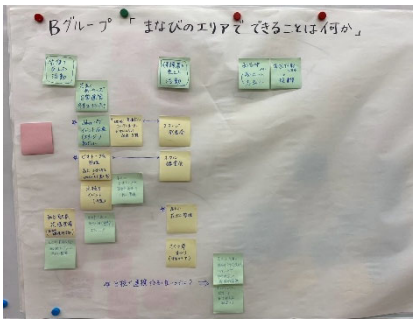
A グループ

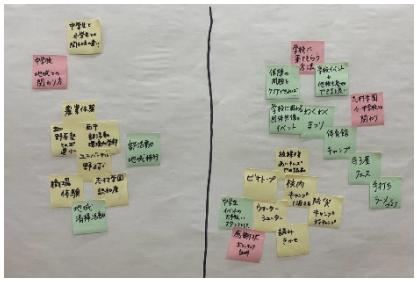
・学校の枠を越えて、**地域全体で子どもを育て、協力していきたいという思いを共有**することができた。
・各校の活動を共有し、今後に向けて、高島第六小学校のみどりのボランティアと西台中学校の環境科学部が連携して環境整備を行う案や、大縄大会やドッチボール大会に3校合同のチームで参加する案が出された。
・志村第五小学校と志村学園、高島第六小学校との交流経験を踏まえ、**3校で一緒にできる活動を検討**してはどうかという意見があった。



B グループ

・各校の活動の共有においては、児童・生徒が参加する活動と保護者が参加する活動に分けて、意見交換を行った。
・志村第五小学校のあいキッズでの生徒のボランティア活動、高島第六小学校のビオトープ整備、西台中学校の駅前花壇の整備など、各学校で様々な活動を行っており、**これらの活動を3校が連携して実施することで、中学校入学前において、子どもたち、保護者間の交流の機会になる**という意見が出た。
・一方で、**中台地区と高島平地区の連携強化が課題**であるという意見があった。



C グループ

・各校の活動を共有した上で、**小学生と中学生では活動内容が異なるため、一緒に取り組める活動を考える必要**があるという意見が出た。
・今後の活動の案として、西台中学校の環境科学部と野菜塾(レストラン)の連携による農業体験、志村学園のユニバーサル野球の経験を踏まえた**スポーツを通じた交流**や高島第六小学校のおやじの会との連携による**小学生以下の子どもたちの交流**など、交流の場づくりの意見が出た。